

HIBIYA KADAN
WEDDING

HIBIYA KADAN
WEDDING

LIVING
WITH
FLOWERS
AND
YOU





HIBIYA KADAN WEDDING

「花とあなたと生きていく」

花とともに生きていくきっかけを

結婚式という日を通してご提案する

日比谷花壇のウェディング

ALL WHITE

洗練された“白”から始まる新たなストーリー



BOUQUET TREND COLLECTION

花嫁が心動かされるブーケ最新のトレンドを
束ねる / 纏^{まと}う / 装う 3つのテーマからご紹介



TREND BOUQUET

Theme 束ねる



フランス語で「花束」を意味するブーケ。昔、ヨーロッパではプロポーズする際に、男性が女性へ道に咲く花を摘んで花束をプレゼントしていました。女性はYESの返事として、花束の中から1本を男性の胸元へ挿し、プロポーズの返事をしました。これがブーケ・ブートニアの由来です。1944年に日本で初めてウェディングブーケを紹介した日比谷花壇は、この素敵な由来をおふたりに伝えながらブーケを束ねています。





Nerine | ネリネ
「幸せな思い出」



Tulip | チューリップ・パープル
「不滅の愛」



Marigold | マリーゴールド
「変わらぬ愛」

S I N G L E B O U Q U E T



Sweet pea | スイートピー・ホワイト
「ほのかな喜び」



Rose | ローズ・ページュ
「成熟した愛」



Carnation | カーネーション
「無垢で深い愛」

シングルブーケとは、1種類のお花だけを束ねたデザイナーのブーケのこと。少ない種類で仕上げることで、洗練された雰囲気と作り込みすぎない程よいラフさのバランスがとれたミニマなブーケとなります。お気に入りの花言葉がふたりの記憶に残る特別な花になることでしょう。

TREND BOUQUET

Theme ^{まと}纏う

花に溶け込むように身に纏うトレンドブーケ。生花ならではの香りや質感をダイレクトに感じられ、ムード漂うおしゃれな花嫁に。





花を繋げて作るカーランドブーケ。エレガンスを象徴するユリとランを纏えば、女神のような優雅で神秘的な存在に。





フラワーネックレス バックスタイルから印象付ける唯一無二のアクセサリー。



ボディフラワー
花を纏う可能性。ボディに添えられた花があなただけの個性を引き立ててくれます。

TREND BOUQUET

Theme 装う



リボンやパール・ビジュリーなどのアクセサリ素材と生花を組み合わせるスタイリングするファッション感覚で楽しめるデザインブーケ。少しのアクセントでいつもの自分を華やかにしてくれます。



花×リボン 胡蝶蘭に結んだ繊細なリボンが動くたびに揺れ、ロマンティックな雰囲気を演出してくれます。



花×パール 女性らしさの象徴「パール」をスタイリッシュな印象のフックスリュームやカラーと小粒のパールチェーンを合わせればオクラシカルな雰囲気。



シンプルにまとめたお花もビジュアールやメタリックカラーのデコレーションを施せば、オンリーワンの個性が表現できます。



ECOLOGICAL DECORATION FLOWERS

自然の恵みを与える花々。育つ環境にも配慮した
エコロジカルなデコレーションスタイルをご紹介します



ノーフローラルフォームという哲学

「ノーフローラルフォーム」とは、花を挿すためのフローラルフォーム（スポンジ）を使用しない方法です。フローラルフォームは、リサイクルできない素材のため環境に負荷がかかります。代わりに、水・木・石・砂・果物など自然の素材で試みたデコレーションスタイルは環境への配慮をしながら新しい表現を生み出しました。



花を器に生ける方法は様々。生け花のように剣山（ケンザン）を使うスタイルは日本の伝統的なノーフローラルフォームの美しさです。花数を絞って、ミニマムに1本1本の美しさを見せる様式は今の時代のライフスタイルに通じるものがあります。

※近年、HIBIYA KADAN WEDDING は環境に優しいデコレーション様式として「ノーフローラルフォーム」をすすめ、5年間でフローラルフォームの使用量を約60%削減しています。(2025年度現在)



花留め（はなどめ）とは花を生ける際に、花の位置や形を安定させるための道具や技術のことです。ゴールドのワイヤーが花留めの役割をしながらインテリア性の高い人気のフラワーベースはいろいろな花をおしゃれにまとめてくれます。



水中花は、文字通り水の中に生けられた花のことです。みずみずしさと花の色のコントラストが魅力的なそのスタイル。水を得て生き生きと咲く花の表情をガラスに伝えてみてもいいかもしれません。



キャンドルスタンドにも花瓶にもなるオリジナルのフラワーベース。自由度の高いスタイリングが、フローラルフォームがなくても可能になります。

WELCOME TO
OUR IMAGE ROOM

14

styles
wedding image

結婚式のお花を上手に選ぶためのアイディア準備
日比谷花壇のWEB SITE で、はじめよう。

STEP.01

二次元コードを読み取りスタート
日比谷花壇のWEB SITE の14style
でいろいろなスタイルをご覧い
ただけます。



無料・ダウンロード不要

STEP.02

フラワーコーディネート診断&好みのスタイル画像をストック
サイト内のLINE アプリ「Favori」のフラワーコーディネート
診断機能であなた好みのスタイルを診断してくれます。その
まま画像保存ができるので、とっても便利!



STEP.03

装花の打ち合わせ当日
あなたの好みは担当フローリスト
に自動共有されるので、あなたの
イメージに合った提案がスムーズ
に受けられます。



WARM CASUAL



CASUAL POP



NATURAL GARDEN



RELAX HEALTHY



ROYAL CLASSY



ELEGANT



SWEET



NUANCE CHIC



ETHNIC



RUSTIC



URBAN MODE



LUXURY LUXE



NATURAL BOTANICAL



NATURAL NOBLE



WE WANT TO CONNECT HAPPINESS

結婚式という特別な一日を通して
おふたりの幸せを未来へ繋ぐ



幸せを繋ぎたい

Produced by
HIBINA KADAN WEDDING

日比谷花壇デザイナーの監修のもと「YUMI KATSURA」のウエディングドレス
のブライド生地が「Lovéco」の技術でサステナブルフラワーとして蘇りました。

YUMI KATSURA



YUMI KATSURA <ユミカツラ> | 日本初のウエディングファッションブランド。ユミカツラを語る上では、4つの美学が重要なファクターとなっている。高度な技術を用いて生まれた細部にわたる繊細な『テクニック』、360度どこから見てもドラマティックな花嫁を演出する完璧な『デザイン』、立体裁断することで生まれたスタイル抜群に見せる魔法の『シルエット』、世界中から探し抜いた最高級の素材『マテリアル』。それらのすべてが融合したドレスが花嫁たちにとって体験したことのない「自信と感動」を届けてくれるのです。

YUMI KATSURA with Lovéco

Lovéco



Lovéco <ロヴェコ> | 洋服やインテリアを生産する上で余り、廃棄される布地、販売に至らなかった洋服などを素材にサステナブルテキスタイルフラワーを製造販売。Lovéco = Love + ecology & economy 職人の手で1つ1つ大切に愛情〈Love〉いっぱいにも生まれたもの。〈eco〉は、環境問題や経済にも役に立ちたいという意味を持ち、就労支援センターや子育て中の方を職人に育成し、働く場を提供しています。“人や物を大切に”をコンセプトに現代のものづくりに関わる問題、衰退していくMADE IN JAPANと向き合いながら日本製を応援・発信していきます。



TEXTILE
FLOWER
WEDDING



1つ1つ、想いを込めて



テキスタイルフラワーを構成するパーツは、すべて緻密な手作業によって生み出されます。ハサミで正確に、そして流れるように切り抜かれ、各パーツが出来上がります。

ウエディングドレスのために選び抜かれた上質で特別な生地が、プレス機で花びらの形に抜かれていきます。



内側から一枚一枚、花びらを繊細に貼り重ねていく作業は、経験と美的感覚だけが頼り。指先から生み出される微妙なニュアンスによって、ひとつとして同じものがない、個性豊かな花が完成します。デザイナーの感性と技術によって、ドレスのための生地が特別なフラワーとして美しく生まれ変わる瞬間です。



新しいものはいつも想いから始まる

二人のデザイナーの想い



世界的ウエディングドレスブランド・ユミカツラのエレガンスと精神に共鳴して誕生したLovéco（ロヴェコ）のテキスタイルフラワー。ドレスを彩るはずだった貴重な生地に新たな命を吹き込み、永遠に咲き続けるこの特別なフラワーが誕生した背景、サステナブルテイ、込められた想い。Lovécoの小倉雪路氏と、日比谷花壇でウエディングフラワーを手掛ける門田沙由香氏が、この花に託した未来へのメッセージを語り合います。

門田氏 私たちは「花とあなたと生きていく」というコンセプトのもと、ウエディングというお客様の人生の特別な一日をお手伝いさせて頂いていただいております。生花は特別な瞬間を華やかに彩りますが、同時に一度の使用で役目を終えてしまいます。そこで未来に繋がる持続可能な新しい提案を模索している中で出会ったのが「Lovéco」様の作品でした。ドレスを彩るはずだった生地に新たな物語を与えるというストーリー、そして布ならではの表現力に魅力を感じ、その美しさとコンセプトに深く共感いたしました。それこそ日比谷花壇が大切にしている「花を通じて想いを繋ぐ」という考え方に通じるものだったからです。

Lovéco Designer
小倉 雪路



Instagram



FLOWER CREATION ROOM
Executive Florist
門田 沙由香

す。ちょうど私たちはユミカツラブランドの桂先生からいただいた課題を胸に、ドレスにならなかつた生地をどう活かすか模索しておりましたが、アパレル業界の私たちにとって、ウエディング業界へのアプローチは未知の領域でした。そのようなときに門田様からお声がけをいただいたのです。異なる業界の専門性が融合することで、これまでにない新しい価値が生まれるのではないかとという大きな期待感を抱きました。

門田氏 「Lovéco」様は、桂由美先生とはどのような縁だったのでしょうか。

小倉氏 あれは2022年のことでした。幸運にも直接桂先生にお目にかかる機会に恵まれ、「余った生地を使ってウエディングドレスにつけるお花を作ってほしい」と私たちの進むべき道を照らすような温かいお言葉をくださったのです。そのお言葉は私たちにとても大きな指針となり、未来へと繋ぐ大切なメッセージとなりました。

門田氏 そんな特別な生地を用いて、今回ウエディングフラワーを製作いただきました。Lovéco様が最も大切にされたことは何でしょうか。

小倉氏 ユミカツラのドレス生地そのものの素晴らしいさを最大限に引き出すことです。触れるだけでその質の高さが伝わる、本当に特

別な素材です。私たちはその素材が持つ本来の輝きを、ありのままに表現することを大切にしています。レースの繊細さ、生地の持つ光沢や質感...それらを前面に出すことで、本物のエレガンスを感じていただけるよう努めました。

門田氏 私自身、フーリストとして「Lovéco」様の技術力の高さには感銘を受けるばかりでした。プロデュースさせて頂いたばかりにあって特にこだわったのはディテールの再現性です。例えば、ブライダルでは通常、花粉を出す約（やく）を取り除くのですが、今回はその約の美しい存在感まで、テキスタイルで見事に再現してくださいました。生花では難しい組み合わせや、空間に映えるダイナミックなサイズ感を実現できるのも、テキスタイルフラワーならではの魅力です。そして何より、全体を「無垢な白」で統一した点です。おふたりの門出を祝福する清らかさとユミカツラのドレスへの敬意も込め、素材そのものの美しさを際立たせることに注力いたしました。小倉氏 サステナブルテイという観点も、このプロジェクトの重要な側面でした。

門田氏 ウエディングという幸せなシーンを彩る花々ですが、その多くが短い時間で役目を終え、廃棄されてしまう現状があります。この光景を目の当たりにするたび、何かできることはないかと考えていました。これまで私たちはお花からたくさんの幸せをいただいてきました。だからこそ、今度はその花自身や、花を育む生産者の方々、そして豊かな自然環境に「恩返し」をしたい。その想いが、このサステナブルな取り組みの原点です。このウエディングフラワーを通じて、花に関わるすべての人々と自然にとって、より良い未来へと続く、幸せな循環を生み出す一助となることを目指しています。

小倉氏 アパレル業界も大量生産・大量消費という課題に長年向き合ってきました。心を込めて作られたものが、その価値を発揮できずに眠ってしまう現状に対し、作り手として強い責任を感じています。このプロジェクトが未使用素材の活用というだけでなく、物の本質的な価値を見つめ直し、背景にあるストーリーを大切にするという文化を広める一助となれば幸いです。

門田氏 これから結婚されるおふたりに、この特別なウエディングフラワーに込めたメッセージをお伝えいただけますでしょうか。

小倉氏 この特別なテキスタイルフラワーは、「変わらない想い」の象徴でもあります。結婚式という人生の節目に抱く、初々しく尊い気持ち。その大切な想いを、この花とともにいつまでも色褪せることなく心に留めていただけたらと願っております。結婚式はおふたりの輝かしい未来へのスタートライン。そしてこの花もまた、ドレスに使われた美しい生地から、未来への希望を託されて生まれ変わった存在です。この花をお選びいただくことが、おふたりだけでなく社会や環境へ思いを馳せるきっかけとなることを願っています。

門田氏 日比谷花壇は、常にお客様おひとりおひとりの想いに寄り添い、おふたりらしい最高のウエディングシーンを創り上げるお手伝いをさせて頂いていただいております。このテキスタイルフラワーは、まさに私たちが大切にしている「花を通じて想いを繋ぐ」を体現しています。おふたりが見据える未来は、おふたりのことはもちろん、ゲストの皆様、関係者の皆様、そして社会や地球環境へと繋がっている。この花が、そんな大きな愛のメッセージを伝えてくれることを私たちは信じています。

TEXTILE FLOWER



Dozen Rose

ダズンローズは1ダース（12本）のバラ。
 12本のバラにはそれぞれ感謝・誠実・幸福・信頼・希望・愛情・情熱・
 真実・尊敬・栄光・努力・永遠というメッセージが込められており、
 1998年ブライダルファッションデザイナーの桂由美氏が考案したも
 のです。欧米では、「12本のバラを恋人に贈ると幸せになれる」と
 言い伝えられています。



- Gratitude 感謝
- Faithfulness 誠実
- Happiness 幸福
- Trust 信頼
- Hope 希望
- Love 愛情
- Passion 情熱
- Truth 真実
- Respect 尊敬
- Glory 栄光
- Effort 努力
- Eternity 永遠

WELCOME

TEXTILE FLOWER



おふたりに代わって真っ先に大切なゲストをお出迎えするウェルカムフラワー。これから始まるパーティーへの期待感をぐっと高め、ファーストインプレッションにもなる大切なアイテムです。



ECOLOGICAL ITEMS

エコロジカルなウエディングアイテムをご紹介します
結婚式後もお花が想いを繋ぎます





ピンクバラ
バラ8本の花言葉は
「あなたの思いやり、励ましに感謝します」



ガジュマル | 幸福の木
「家族の絆を強くし、幸運を引き寄せる」
という意味を持ちます。

THANK YOU FLOWER GIFT

贈 呈 花 束

ご両親に感謝の気持ちを花にのせて贈る贈呈花束。今では定番になっている贈呈シーンは日比谷花壇が初めて取り入れた感動演出です。感謝の花言葉を持つ花でまとめた花束に、親御様へのメッセージが入ったHIBIYA KADAN WEDDING オリジナルシートを添えました。

THANK YOU GREEN GIFT

贈 呈 植 物

感謝と未来への願いを込めて。今日まで愛情いっぱい育ててくれてありがとう。そんな感謝の気持ちと、これからも健やかに、そして末永く幸せにしていってほしいという願いを込めて。

THANK YOU

Thanks for raising me and being there for me all these years. I'm grateful and happy to have been born your child.

THANKYOUペーパーの素材は「LIMEX」を使用しています。LIMEXとは、炭酸カルシウムなど無機物を50%以上含む、環境に配慮した新素材です。



[LIMEXは株式会社TBMの登録商標です]



カスミンソウ
両手いっぱい抱えるサイズのふわふわ花束



ピンクガーベラ&カスミンソウ
可愛らしいガーベラと可憐なカスミンソウの花束



ベンガレンシス | 長寿の木
「永久の幸せ・健やか・愛情」などの意味を持ちます。



BOTANICAL PLASTER

botanical plaster 40cm オリジナル板 | 晴れの日の
思い出を「留める」ということ。ウエディングブーケを石膏
アートパネルという表現で永遠に残します。結婚式という晴れ
の日の空気感を日常の彩りとして楽しむアートパネルを提案
しています。



NOIR GRAY M



ノールグレー M | 世界にひとつだけの、オーダーメイド押し花フレーム。
大切な思い出の花を、時を超えて咲き続ける美しい押し花フレームに。お部屋に
飾れば、いつでもあの日の感動が蘇ります。



Re:f HIBIYA KADAN

Re:f HIBIYA KADAN 思い出を未来へ繋ぐ押し花カード |
たくさんの祝福が詰まったお花たちが押し花として生まれ
変わり、オリジナルのカードになりました。席札やエスコート
カードとしてお使いいただけます。



今では定番になっている贈呈シーンは日比谷花壇が初めて取り入れた感動演出です。

since

1872 日比谷花壇と婚礼装花の始まり

明治5年、東京で庭園業を開業したことから日比谷花壇の歴史が始まりました。庭造りや植栽の管理から発展し、西洋の様式を取り入れた婚礼や宴会の装花を行うようになりました。



since

1950 日本の平和のシンボルとして

昭和25年、戦後復興計画の一環として「平和と復興の象徴となるフラワーショップを、市民の憩いの場である公園に海外の事例にならって作ってほしい」という当時の東京都知事からの要請を受けて、東京都の日比谷公園へ出店しました。その際、東京都から指定された店名が「日比谷花壇」でした。



 HIBIYA KADAN



WEB SITE

未来へ、 花とともに、あなたとともに

花とともに、想いに寄り添い続けてきた私たちは結婚式というおふたりの大切な1日から未来へ、花とともにあなたの想いにはなやぎをお届けすることをお約束します。

HIBIYA KADAN WEDDING



Instagram



お客様に素敵なお花を届けるために。日々鍛錬し続けるフローリスト数も増え、今では日本で一番多くの婚礼装花をお届けする花屋になりました。

FLOWER CREATION ROOM



FLOWER CREATION ROOM



WEB SITE

もっと、想いに寄り添いたいから人それぞれに好みがあります。あなたにぴったりのフローリストを、優れたフローリストのみが集うフラワークリエイションルームから、直接指名できるサービスをスタートしました。

Producer/Rika Yamachi Art director/Kana Nishikimi Flower design/ FLOWER CREATION ROOM Sayuka Kadota Manabu Abe
Saya Ushie Miho Arai Saki Iseya Florist/Rie Benya Etsuko Wakamiya Eriko Watanabe Masami Kikuchi Dress/YUMI KATSURU
C/o marriage Textile flower/Lovéco Model/Saki Kino Yamachi Photographer/Leadz company Yuta Katahirra Goki Tateno
Hair/Make up Artist/Yukino Nozomi Writer/Kazuya Sakai Printing/HARAPLEX